

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2397100112		
法人名	医療法人社団 誠淳会		
事業所名	グループホーム 赤羽根の家(1号館)		
所在地	愛知県田原市赤羽根町東山52番地		
自己評価作成日	令和2年9月7日	評価結果市町村受理日	令和2年12月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&jiyosyoCd=2397100112-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋市長区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	令和2年11月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な環境の中でゆったりとした生活をし、何らかの役割を持ちながら、少しの支援で出来る事は自分でい楽しく暮らしていける第2の住まいを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

陽当りもよく、ゆったりとしたスペースを有するリビングには大きなソファが2つ置かれ、利用者と職員が語り合う様子に安寧の空気が流れる事業所です。地域には既に同法人の介護老人保健施設が稼働、15年もの年月に渡って地域福祉に貢献してきており、当事業所の開設にあたってはそのネットワークや信頼を大いに享受でき、1年を経ていないとは思えない充実した関係を地域と形成できています。理念に基づき、利用者のやりたいこと、できることへのアプローチにも余念なく、職員が自宅から毛糸を持ち込んでの編み物活動は5名もの利用者で賑わっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎週一回、昼礼を行い事業所理念の再確認を行い共有すると共に実践に繋げています	法人理念は所内掲示され、また事業所理念はパンフレットに刷り込み、浸透を図っています。「できることはおこなう」という取組み状況にあり、帰宅願望の人の自宅までつきそうことは難しく(徒歩3時間)、一方で編み物が得意な人には職員が自宅から毛糸を持ち込んでいます。	実践が明確となるよう、理念に基づいたユニット目標または個人目標があると良いと思います。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	令和2年3月1日に開設したばかりの為地域の方々にとって知るべく努めています	開設に先立ち、事前説明会をおこなうとともに近隣周辺への挨拶廻りで理解を求め、自治会長、区長、民生委員とも顔合わせができています。また道の駅では販売農家の協力で規格外品の野菜を廻してもらえ、食材は努めて近所の店舗で購入しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々施設を知って頂き、少しずつ交流を図っていき認知症を理解して頂けるよう努めています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では近況報告を行うと共に、参加者との意見交流を行いサービス向上に努めています	運営推進会議は2ヶ月に1度の定期開催に取組んでいます。8月のみコロナ対策で書面開催に切り替えています。開設まもないもののメンバーは豊富で多様な意見を享受できており、管理者も活動報告を丁寧作成しています。	書面開催では活動内容をメンバーに郵送する際、FAXの返信用紙または葉書きを同封し、意見を募るよう期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の報告やケアサービスの取り組み等を伝え、アドバイスを頂くように協力関係を築いています	田原市社協からは空室の問い合わせやボランティアの紹介等情報が随時入っています。また、運営推進会議開催にあたっては、「市役所、地域包括支援センター及び地域のグループホーム全てに案内を出す」との行政指示を遵守すべく手配を進めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束についての勉強会を行い、全職員が共通の認識で身体拘束をしないケアに取り組んでいます	現状平均介護度2.1で、3要件に係る利用者もいません。管理者、計画作成担当者、介護職員をメンバーとして、身体的拘束適正化検討委員会を3ヶ月に1度開催、議事録も残すと同時に、職員の回覧押印もあり、周知徹底が叶っています。	ユニットの出入り口の施錠は、職員の意識が恒常化しないよう、会議の場で振り返りを図ることを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待についての話し合いの場を設け理解し、普段から身体観察をし虐待防止に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	必要な場合には学ぶ機会を設け活用できるように支援しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結に至るまで利用者様家族様に不安の無いように十分説明し、納得して頂いた上で契約して頂いています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を偶数月に一回行い、利用者様家族様の意見や要望を反映出来るよう努めています	コロナ禍で出鼻をくじかれた感があり、家族とはじっくり話せてはいませんが、アンケートには感謝の気持ちが滲み、信頼されていることが覗えます。「たいくつだなあ〜」とこぼす利用者には、毎月来所の移動図書館の本や職員手作りのゲームを提供して、気持ちを確認しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回部会を行い、事務長、管理者、各館の代表で意見交換を行い反映させ実践しています	毎月部会(職員会議)をおこない、意見交換を図っています。「困ったことがあったら言って」「できることはするから」と管理者は常々職員に話しており、38歳から72歳の職員からは「浴室マットは大きい物に替えて欲しい(すべりやすいので危険)」といった意見があがっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	パート、日給正社員、月給正社員が同じ仕事をしていく上で助け合いながら働き続けていける職場環境にしています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実務者研修、実践者研修を受ける機会を設け職員の質の向上に取り組んでいけるよう努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会を通じてサービスの向上に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様、家族様の要望を伺い安心して頂けるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様との面談を行い要望等を伺いながら信頼関係を築くように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様、家族様に詳しく話を伺い、必要としている支援・サービスを利用して頂けるよう努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らすという意識を常に持ち人生の先輩から学ぶ姿勢で尊重しながら関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様との連絡を密にして一緒に支えていける心掛けています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルス感染症の感染対策で短時間のみの面会とさせて頂いております	食器の持ち込みはありませんが、マイ箸を継続している人、家族の付き添いで美容院に通う人もいます。コロナ禍であっても「会いたい」気持ちに応じていきたいとして、玄関からユニット入口へのエントランスを活用して(消毒・マスク・検温有り)面会を実現させています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が一緒に楽しんで頂けるようなレクリエーションを行ったり、席の配置を考慮して楽しく過ごして頂けるよう支援しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様が入院退居されても必要に応じ経過を尋ねる等して相談や支援に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望を伺い意向の把握に努めその人に合った支援を行っています	入居時に仮作成する介護計画書の意向欄は、大抵が「困っとらんよ」となりがちのため、「想いが反映された聞き取りをするように」と上位者からの指導があります。また、大きなソファに仲良く並ぶ利用者たちの脇に職員がかがんで耳を傾ける様子にも安寧が滲みます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしが継続できるよう、これまでのサービスの把握に努め支援しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタル測定を行い、入浴やレクリエーションを実施し一人ひとりの日々の様子を介護記録、詳細記録に記入し情報を共有し把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を行い、職員で検討し利用者様家族様の意向に沿った援助内容を考慮した介護計画を作成しています	法人内の他事業所と平行勤務する計画作成担当者2名が月2回、30分ほど職員とカンファレンスをおこない、また職員が日々のケアサービスの実施について記録を残すことで、3ヶ月毎のモニタリング(評価表の作成)につなげています。	計画作成担当者が現場業務に就くことが無いため、現場の事柄が更に密に届く工夫があると、なお良いと思います。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中の様子を介護記録に記入するだけでなく情報共有出来るよう申し送りを行い、3ヶ月毎にモニタリングを行い見直しをしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様のニーズに沿った計画書のサービスだけでなく、ニーズが変化した場合にも柔軟に対応できるように支援しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事などに参加し地域の方々と楽しく交流していけるようにしたいと思っています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様家族様が希望される医療機関と連携しながらいつでも適切な医療が受けられるように支援しています	月1回の訪問診療をおこなう協力医の診察を9名が受けています。残り8名は従来の医療機関を継続、内6名が家族の通院介助で、2名は訪問診療としています。いずれの医療情報も「申し送りノート」「お薬説明書」で共有しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日のバイタル測定をしっかりと行い、異常があった際には速やかに対応できるように支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された際には、医療機関と情報交換を行い、早期退院に向けて良い関係作りをしています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のあり方について早い段階から利用者様家族様と話し合い医療機関と協力して支援に取り組んでいます	契約時には「看取りに関する指針」を以て看取りをおこなう事業所であることを家族に説明しています。開設間もないことから実績はないものの、末期癌で「あと1ヶ月…」という利用者をぎりぎりまで頑張つて、最期は入院となりましたが、有難い経験と成っています。	管理者には豊富な経験がありますが、職員の大半は看取りが未経験のため、医療連携の見直しや勉強会など体制整備を進めていくことを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員に応急手当や初期対応などの訓練を行い適切な行動がとれるよう努めています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な防災訓練を実施予定であり、安全に避難できるよう職員で話し合い安全確保に努めます	図面を確認しつつ搬入口はどこになるか等、オープン時(3月頃)に消防署の指導、説明を受けています。10月には火災想定で実施、2回目は現在検討中です。ローリングストックも含めると3日分程の非常食があり、ソーラーと蓄電池が備わっているため、通常米も炊けます。	次の3点を期待します。①夜間想定でおこなう ②新採のオリエンテーションでは避難経路と通報装置の説明と確認をおこなう ③備蓄品が必要な種類、数揃っているか見直す

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴や性格等を把握し、一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーの保護に努めています	清掃の仕事としていた人は率先して職員のように立ち働いてくださり、掃除をすることにやりがいを感じている様子です。また、海関連の仕事をしていた人はソファに座ると寛ぐのか昔語りが始まり、職員に沢山話を聞かせてくださっています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が日常生活の中で希望や自己決定が出来るよう環境作りに努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理強いせず個々のペースで生活して頂けるように、また希望には出来る限り対応を行っています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様が好みの洋服を選んだり季節に合った服装が出来るよう支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の片付け等は職員と一緒に頑張って頂き生活に張り合いが持てるように支援しています	朝は職員が一手に担い、昼夕は食材と献立(作り方)が業者から入っていますが、近所の魚屋さんでお刺身を買ったり、近隣の農家の新鮮野菜を使う日もあります。行事食も盛んで、お誕生日会は炊飯器を使い土台を作り、利用者がデコレーションするのが恒例です。	検食簿をつけてくださっていますが、プラス点、マイナス点の欄を設け、向上点が明確になることを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	外部業者の栄養バランスの取れた食事を提供し、水分補給には常に声掛けをし、摂取出来る様にしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けや介助を行い、個々の筋力に応じた口腔ケアの支援や義歯の消毒を実施しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターン、習慣を活かして声掛けやトイレ誘導を行っています	8名が布パンツ、9名リビリパンツです。失禁がやや心配な2名のみ声掛けするのみで、大半に尿意があり、壮健です。排泄チェック表をつけていますが、基本自由にトイレに出入りしているため、週1回勤務の看護師がお腹を触って確かめています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を把握し運動・食事等に気を付け自然排便が出来るように心掛けています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1週間に2回入浴して頂けるよう支援しており、体調により入浴出来ない方には清拭して対応しています	湯はシャワーでの足湯で、週2回を清潔の目安としています。拒否の人には人を替え、時間を替えて気持ちに浴うほか、「顔を拭いて→自分でやってみて」といった動作誘導も併せておこない、また湯量や湯温も一人ひとりに対応しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は居室や共有スペースでご自身のペースで自由に休息をとって頂き、夜間は温度管理等をしっかり行い安心して眠れるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療機関からの薬剤情報で用法・副作用を把握し職員が共有する、薬の変更があった場合には観察を十分に行い職員に周知しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの出来る事を把握し役割を持って頂き生活に張り合いが出来るよう支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	新型コロナウイルス感染症の感染対策でなかなか外出の機会は持てなかったが、外気浴やドライブなどで気分転換に努めており、また希望を伺いながら出かけられるよう支援していきます	4月には花見・へんび神社・海岸散策、6月は初立ダムへ菖蒲見学、7月以降は室内でたこ焼きパーティーや余興でリフレッシュしています。散歩は好天なら0分ほど実施、外でのリハビリ体操にも力を入れています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や好きな物を自由に購入出来るように支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば家族様に電話を掛ける事は出来ます		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有のスペースには季節の壁紙を掲示したり、利用者様の作品や写真等を展示して居心地良く過ごして頂けるよう工夫をしています	消毒方法は開設時から変わらず、換気は30分開けることに加え、昼と夕1日3回に増やしています。デイサービスに勤務経験のある職員が夜勤のときに季節に合わせたクラフトを準備して、小さなモチーフは利用者にも作ってもらった共同作品として完成させています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの配置を工夫してレクリエーションや会話を楽しく頂く等自由に過ごして頂けるように支援しています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具などを持ち込んで頂き心地良く生活出来るように支援しています	カーテンとエアコンとベッドが予め備わっています。「使い慣れたものを持ち込んでください」とお願いしていますが、仏壇以外目立ったものは見られません。テレビ好きな人は自室で独り鑑賞するのが日課です。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室や共有スペースは分かりやすく表示し一人ひとりが自立して安心な生活が送れるよう工夫しています		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2397100112		
法人名	医療法人社団 誠淳会		
事業所名	グループホーム 赤羽根の家(2号館)		
所在地	愛知県田原市赤羽根町東山52番地		
自己評価作成日	令和2年9月7日	評価結果市町村受理日	令和2年12月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&jiyosyoCd=2397100112-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	令和2年11月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な環境の中でゆったりとした生活をし、何らかの役割を持ちながら、少しの支援で出来る事は自分でい行い楽しく暮らしていける第2の住まいを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

陽当りもよく、ゆったりとしたスペースを有するリビングには大きなソファが2つ置かれ、利用者職員が語り合う様子に安寧の空気が流れる事業所です。地域には既に同法人の介護老人保健施設が稼働、15年もの年月に渡って地域福祉に貢献してきており、当事業所の開設にあたってはそのネットワークや信頼を大いに享受でき、1年を経ていないとは思えない充実した関係を地域と形成できています。理念に基づき、利用者のやりたいこと、できることへのアプローチにも余念なく、職員が自宅から毛糸を持ち込んでの編み物活動は5名もの利用者で賑わっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎週一回、昼礼を行い事業所理念の再確認を行い共有すると共に実践に繋げています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	令和2年3月1日に開設したばかりの為地域の方々に知って頂けるように努めています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々に施設を知って頂き、少しずつ交流を図っていき認知症を理解して頂けるよう努めています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では近況報告を行うと共に、参加者との意見交流を行いサービス向上に努めています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の報告やケアサービスの取り組み等を伝え、アドバイスを頂けるように協力関係を築いています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束についての勉強会を行い、全職員が共通の認識で身体拘束をしないケアに取り組んでいます		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待についての話し合いの場を設け理解し、普段から身体を観察をし虐待防止に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	必要な場合には学ぶ機会を設け活用できるように支援しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結に至るまで利用者様家族様に不安の無いように十分説明し、納得して頂いた上で契約して頂いています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を偶数月に一回行い、利用者様家族様の意見や要望を反映出来るよう努めています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回部会を行い、事務長、管理者、各館の代表で意見交換を行い反映させ実践しています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	パート、日給正社員、月給正社員が同じ仕事をしていく上で助け合いながら働き続けていける職場環境にしています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実務者研修、実践者研修を受ける機会を設け職員の質の向上に取り組んでいけるよう努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会を通じてサービスの向上に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様、家族様の要望を伺い安心して頂けるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様との面談を行い要望等を伺いながら信頼関係を築くように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様、家族様に詳しく話を伺い、必要としている支援・サービスを利用して頂けるよう努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らすという意識を常に持ち人生の先輩から学ぶ姿勢で尊重しながら関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様との連絡を密にして一緒に支えていける心掛けています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルス感染症の感染対策で短時間のみの面会とさせて頂いております		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士と一緒に楽しんで頂けるようなレクリエーションを行ったり、席の配置を考慮して楽しく過ごして頂けるよう支援しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様が入院退居されても必要に応じ経過を尋ねる等して相談や支援に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望を伺い意向の把握に努めその人に合った支援を行っています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしが継続できるよう、これまでのサービスの把握に努め支援しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタル測定を行い、入浴やレクリエーションを実施し一人ひとりの日々の様子を介護記録、詳細記録に記入し情報を共有し把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を行い、職員で検討し利用者様家族様の意向に沿った援助内容を考慮した介護計画を作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中の様子を介護記録に記入するだけでなく情報共有出来るよう申し送りを行い、3ヶ月毎にモニタリングを行い見直しをしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様のニーズに沿った計画書のサービスだけでなく、ニーズが変化した場合にも柔軟に対応できるように支援しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事などに参加し地域の方々と楽しく交流していけるようにしたいと思っています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様家族様が希望される医療機関と連携しながらいつでも適切な医療が受けられるように支援しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日のバイタル測定をしっかりと行い、異常があった際には速やかに対応できるように支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された際には、医療機関と情報交換を行い、早期退院に向けて良い関係作りをしています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のあり方について早い段階から利用者様家族様と話し合い医療機関と協力して支援に取り組んでいます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員に応急手当や初期対応などの訓練を行い適切な行動がとれるよう努めています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な防災訓練を実施予定であり、安全に避難できるよう職員で話し合い安全確保に努めます		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴や性格等を把握し、一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーの保護に努めています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が日常生活の中で希望や自己決定が出来るよう環境作りに努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理強いせず個々のペースで生活して頂けるように、また希望には出来る限り対応を行っています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様が好みの洋服を選んだり季節に合った服装が出来るよう支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の片付け等は職員と一緒に頂き生活に張り合いが持てるように支援しています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	外部業者の栄養バランスの取れた食事を提供し、水分補給には常に声掛けをし、摂取出来る様にしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けや介助を行い、個々の筋力に応じた口腔ケアの支援や義歯の消毒を実施しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターン、習慣を活かして声掛けやトイレ誘導を行っています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を把握し運動・食事等に気を付け自然排便が出来るように心掛けています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1週間に2回入浴して頂けるよう支援しており、体調により入浴出来ない方には清拭をして対応しています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は居室や共有スペースでご自身のペースで自由に休息をとって頂き、夜間は温度管理等をしっかり行い安心して眠れるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療機関からの薬剤情報で用法・副作用を把握し職員が共有する、薬の変更があった場合には観察を十分に行い職員に周知しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの出来る事を把握し役割を持って頂き生活に張り合いが出来るよう支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染症の感染対策でなかなか外出の機会は持てなかったが、外気浴やドライブなどで気分転換に努めており、また希望を伺いながら出かけられるように支援していきます		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や好きな物を自由に購入出来るように支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば家族様に電話を掛ける事は出来ます		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有のスペースには季節の壁紙を掲示したり、利用者様の作品や写真等を展示して居心地良く過ごして頂けるよう工夫しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの配置を工夫してレクリエーションや会話を楽しく頂く等自由に過ごして頂けるように支援しています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具などを持ち込んで頂き心地良く生活が出来るように支援しています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室や共有スペースは分かりやすく表示し一人ひとりが自立して安心な生活が送れるよう工夫しています		